

取扱説明書

RadiForce[®] MX210

カラー液晶モニター

重要

ご使用前にはこの取扱説明書および「セットアップマニュアル」をよくお読みになり、正しくお使いください。









- コンピュータとの接続から使いはじめるまでの基本説明については「セットアップマニュアル」をお読みください。
- 最新の取扱説明書は、当社の Web サイトからダウンロードできます。

<http://www.eizo.co.jp>



絵表示について

本書では以下の絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。
	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば  は「感電注意」を示しています。
	禁止の行為を示すものです。たとえば  は「分解禁止」を示しています。
	行為を強制したり指示するものです。たとえば  は「アース線を接続すること」を示しています。
<p>この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。</p> <p>また、製品の付属品（ケーブル含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、基準に適合できない恐れがあります。</p>	
本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。	
本装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。	
製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。	
当製品を用いる装置を設計・使用する場合は、IEC60601-1-1 の規格要求に従って下さい。	

Copyright © 2009-2013 EIZO 株式会社 All rights reserved.

1. 本書の著作権は EIZO 株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部を EIZO 株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Macintosh は Apple Inc. の登録商標です。

Windows、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の米国およびその他の国における登録商標または商標です。EIZO、RadiCS、RadiForce、RadiNET、ScreenManager は EIZO 株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

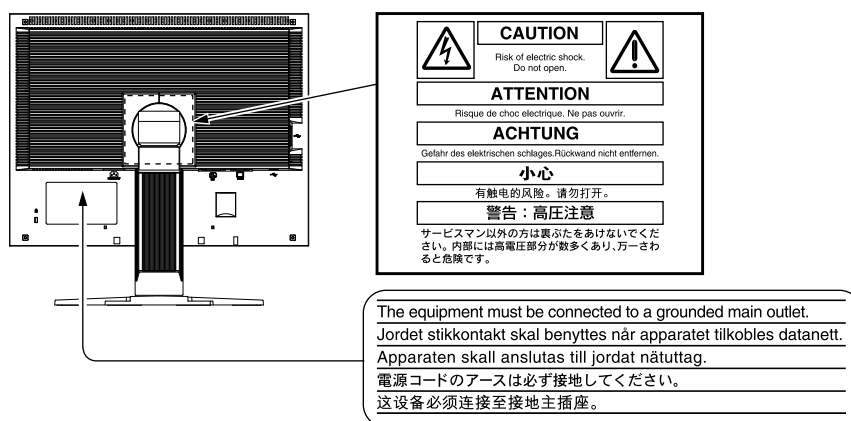
その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

⚠ 使用上の注意

重要

- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

【警告表示位置】



【本体に使われている記号】

記 号	意 味
	電源ボタン 本機の電源をオンまたはオフにします。
	交流
	危険警告・感電
	注意 本書内、「絵表示について」参照

⚠ 警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店または EIZO サポートに連絡する
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



裏ぶたを開けない、製品を改造しない

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。
また、改造は火災、感電の原因となります。



修理は販売店または EIZO サポートに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。

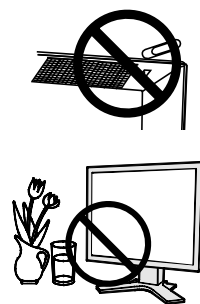


警告

異物を入れない、液体を置かない

本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店または EIZO サポートにご連絡ください。



丈夫で安定した場所に置く

不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。

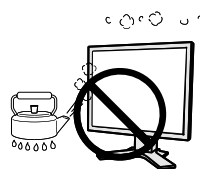
万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店または EIZO サポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



次のような場所で使用しない

火災や感電、故障の原因となります。

- ・ 屋外。車両・船舶などへの搭載。
- ・ 湿気やほこりの多い場所。
- ・ 水滴のかかる場所。浴室、水場など。
- ・ 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。
- ・ 可燃性ガスのある環境。



プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

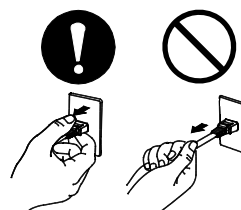
付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

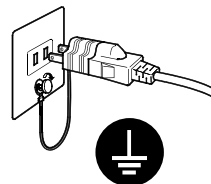
コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。



電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

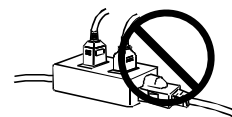
二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- ・ 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続。
- ・ タコ足配線。



電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



⚠ 警告

電気的な安全確保のため、接続コードの取り付け・取り外しは、患者がいない場所でおこなう



雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない
感電の原因となります。



アーム（または他のスタンド）を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示にしたがい、確実に設置する

確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店または EIZO サポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず元のネジを使用し、確実に固定してください。



液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。

万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。



ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てない

蛍光管バックライトには水銀が含まれているため（LED バックライトを使用した製品は水銀を含有していません）、廃棄は地方自治体の規則に従ってください。



⚠ 注意

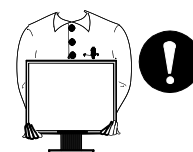
運搬のときは、接続コードやオプション品を外す

コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。



本製品を移動させるときは、右図のように画面の下部を両手で持つ

落としたりするとけがや故障の原因となります。



通風孔をふさがない

- ・ 通風孔の上や周囲にものを置かない。
- ・ 風通しの悪い、狭いところに置かない。
- ・ 横倒しや逆さにして使わない。

通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。



濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。



電源プラグの周囲にものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



注意

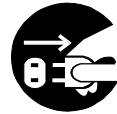
電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。

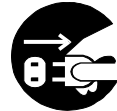


クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。



長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグも抜く



この装置は患者の周囲に設置できますが、患者との接触には適していません

モニターについて

- 本製品は、電子カルテ表示用途に適しています。
- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
- 本書に記載されている用途以外での使用は保証外となる場合があります。
- 本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。
- 本製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。
- 製品内部の電気部品の動作が安定するまでに 30 分程度かかりますので、調整はモニターの電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。
- 同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、スクリーンセーバーやタイマー機能の活用をおすすめします。
- 本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。(次のページ「[クリーニングのしかた](#)」参照)
- 画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。
- 液晶パネルに使用される蛍光管(バックライト)には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店または EIZO サポートにお問い合わせください。
- 液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。(液晶パネルを押したあとが残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。)
- 液晶パネルを固いものや先の尖ったもの(ペン先、ピンセット)などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。
- 本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります(結露)。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングのしかた

注意点

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、消毒薬、その他研磨クリーナーなど）は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
-

〔液晶パネル面〕

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
 - 落ちにくい汚れは、クリーニングキット「ScreenCleaner」（オプション品）をご利用いただくか、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。
-

参考

- パネル面のクリーニングには ScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをおすすめします。
-

〔キャビネット〕

- 柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。（使用不可の洗剤については上記の注意点を参照してください。）

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休憩を取ってください。

もくじ

表紙	1	3-8. 明るさの自動調整を設定する	25
使用上の注意	3	3-9. 推奨解像度以外でのご使用の場合	26
モニターについて	7	3-10. 調整メニューの表示方向を設定する	27
クリーニングのしかた.....	8	3-11. EIZO ロゴを非表示にする	27
モニターを快適にご使用いただくために	8	第 4 章 故障かなと思ったら	28
もくじ	9	第 5 章 ご参考に.....	31
第 1 章 はじめに.....	10	5-1. アーム取付方法	31
1-1. 特長.....	10	5-2. 仕様.....	32
1-2. 操作ボタンの名称.....	11	主な初期設定（工場出荷設定）値	33
1-3. ユーティリティディスクについて	12	外観寸法.....	33
第 2 章 設置する.....	13	別売オプション品一覧.....	33
2-1. 2 台のコンピュータをつなぐ.....	13	入力信号接続	34
2-2. USB（Universal Serial Bus）の活用について.....	14	5-3. 用語集	35
第 3 章 画面調整と設定をする.....	15	第 6 章 プリセットタイミング.....	37
3-1. 基本操作方法と機能一覧.....	15	製品回収・リサイクルシステムについて	38
機能一覧.....	16		
3-2. 画面調整をする	17		
アナログ信号入力の場合	17		
3-3. カラー調整をする.....	20		
簡易調整 [CAL Switch モード].....	20		
詳細調整 [調整メニュー]	21		
3-4. 節電設定をする	23		
アナログ信号入力の場合	23		
デジタル信号入力の場合	23		
3-5. オフタイマー機能を使用する	24		
3-6. 設定をロックする.....	24		
3-7. 電源ランプを設定する	25		

第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

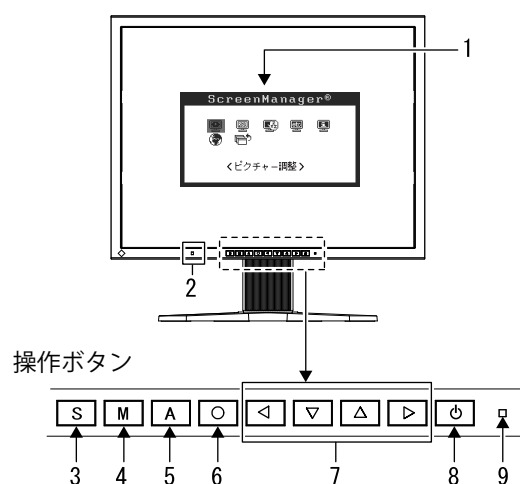
1-1. 特長

- 2 系統信号入力搭載 (DVI-I、 D-Sub15 ピン (ミニ) コネクタ)
- DVI デジタル入力 (TMDS) 対応
- 水平周波数: アナログ信号入力時 24 ~ 80kHz、
デジタル信号入力時 31 ~ 76kHz
- 垂直周波数: アナログ信号入力時 49 ~ 76Hz (1600x1200 モード時 49 ~ 61Hz)、
デジタル信号入力時 59 ~ 61Hz (VGA TEXT 時 69 ~ 71Hz)
- 表示解像度: 1600 ドット × 1200 ライン
- フレーム同期モード対応 (59 ~ 61Hz)
- BrightRegulator (ブライトレギュレーター) 機能搭載
- DICOM モード搭載 (CAL Switch 機能)
- 最適なキャリブレーションモードを選択できる CAL Switch(キャルスイッチ) 機能搭載
- スムージング (ソフト~シャープ) 機能搭載 (拡大表示時)
- キャリブレーションが可能な品質管理ソフトウェア「RadiCS LE(Windows 用)」を添付 (EIZO LCD ユーティリティディスクを参照)
- マウスやキーボードを使って操作できるユーティリティソフトウェア「ScreenManager Pro for Medical (Windows 用)」を添付 (EIZO LCD ユーティリティディスクを参照)
- 高さ調整機能付きスタンドによる、自由な高さ調整
- スリムエッジ (狭額縁) 仕様
- 縦型表示対応 (時計回りに 90° 回転)

参考

- 本機はモニターの縦型表示に対応しています。縦型表示にした場合は、調整メニューの向きも変更することができます (P.27 参照)。
- モニターを縦型表示するためには、縦型表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦型表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

1-2. 操作ボタンの名称



1. 調整メニュー (ScreenManager® ※)
2. センサー (BrightRegulator)
3. 入力切替ボタン
4. モードボタン
5. オートボタン
6. エンターボタン
7. コントロールボタン (左・下・上・右)
8. 電源ボタン
9. 電源ランプ

ランプ状態	動作状態
青	画面表示
橙	節電モード
消灯	電源オフ

※ ScreenManager® は当社調整メニューのニックネームです。

1-3. ユーティリティディスクについて

本機には「EIZO LCD ユーティリティディスク」(CD-ROM) が付属しています。ディスクの内容やアプリケーションソフトウェアの概要は、下記を参照してください。

ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のアプリケーションソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内の Readmeja.txt を参照してください。

項目	概要
Readmeja.txt ファイル	
RadiCS LE	キャリブレーションをおこない、履歴管理が可能な品質管理ソフトウェアです。(USB ケーブルによるモニターとコンピュータの接続が必要です。) 後述参照
ScreenManager Pro for Medical	モニターの調整をマウスとキーボードを使ってコンピュータからコントロールするユーティリティです。(USB ケーブルによるモニターとコンピュータの接続が必要です。) 後述参照
取扱説明書 (PDF ファイル)	

RadiCS LE または ScreenManager Pro for Medical を使用するときは

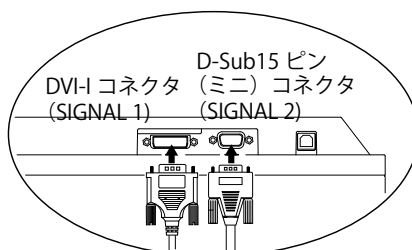
インストール方法、使用方法については、ディスク内の取扱説明書を参照してください。ソフトウェアを使用する場合は、モニターとコンピュータを付属の USB ケーブルで接続してください。詳細は、「[2-2.USB\(Universal Serial Bus\) の活用について](#)」(P.14 参照) を参照してください。








第2章 設置する

2-1.2 台のコンピュータをつなぐ

本機は、背面の DVI-I、D-Sub15 ピン（ミニ）コネクタに 2 台のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

接続



コンピュータ 1				コンピュータ 2			
例 1	デジタル	DVI	信号ケーブル（付属 FD-C39） 	信号ケーブル（オプション V55） 	D-Sub 15 ピン（ミニ） 	アナログ	
例 2	アナログ	D-Sub 15 ピン（ミニ） 	信号ケーブル（オプション VI200） 	信号ケーブル（オプション V55） 	D-Sub 15 ピン（ミニ） 	アナログ	

入力信号の切替方法

[S]を押して入力信号を切り替えます。押すたびに信号が切り替わります。なお、信号を切り替えた時には、現在表示されている信号の種類（入力信号 1 または 2 / アナログまたはデジタル）が画面右上に 2 秒間表示されます。



入力信号の自動切替をする [入力信号]

コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。どちらかのコンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に、もう一方の信号を表示します。

優先設定	機 能
オート	どちらかのコンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に、もう一方の信号を表示します。
マニュアル	コンピュータの信号を自動検知しません。操作ボタンの [S] で表示させたい入力信号を選択してください。

〔設定方法〕

- 調整メニューの<その他>メニューを選択し、[O]を押します。
- <その他>メニューで<入力信号>を選択し、[O]を押します。
<入力信号>メニューが表示されます。
- [Δ] または [▽] で（オート / マニュアル）を選択し、[O]を押します。
設定が完了します。

2-2. USB（Universal Serial Bus）の活用について

本機は USB 規格に対応しているハブを搭載しています。USB 対応のコンピュータまたは他の USB ハブに接続することにより、本機が USB ハブとして機能し、USB に対応している周辺機器と接続できます。

必要なシステム環境

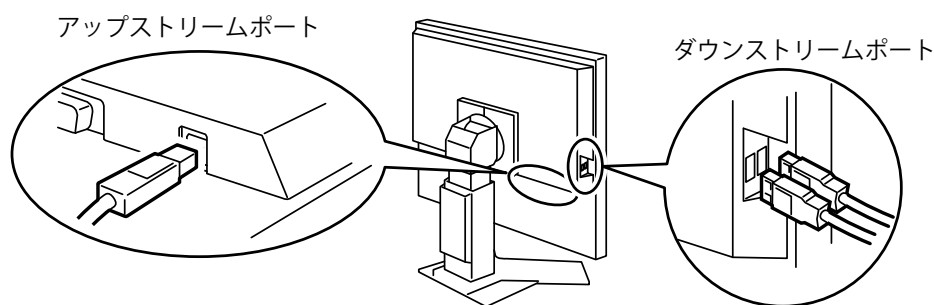
- USB ポートを搭載したコンピュータ、あるいは USB 対応のコンピュータに接続している他の USB ハブ
- Windows 2000/XP/Vista/7/8 または Mac OS 9.2.2 および Mac OS X 10.2 以降
- EIZO USB ケーブル（MD-C93）

注意点

- 使用するコンピュータおよび周辺機器によっては動作しない場合がありますので、各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。
- 使用する機器は USB Rev. 2.0 対応のものをおすすめします。
- モニターが節電モードの場合、またモニターの電源を切っても、電源プラグをコンセントに接続している場合は、USB ポート（アップストリームおよびダウンストリーム）に接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、節電モードであっても接続される機器によって変化します。
- 以下は Windows 2000/XP/Vista/7/8 および Mac OS の場合の手順です。

接続方法（USB 機能のセットアップ方法）

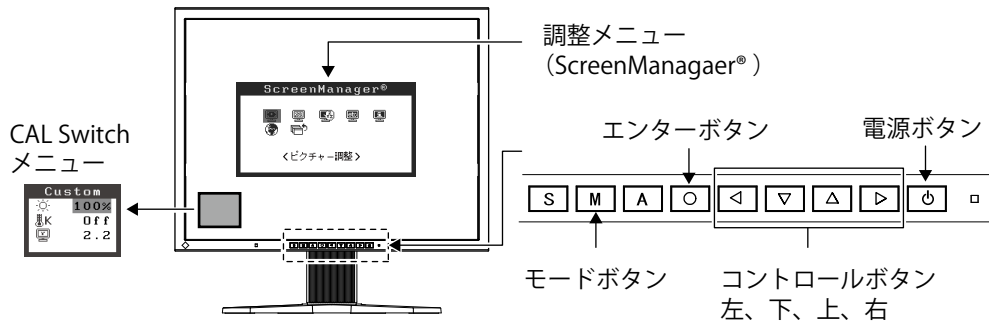
- 1** はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、コンピュータを起動しておきます。
- 2** USB 対応のコンピュータ（あるいは他の USB ハブ）のダウンストリームとモニターのアップストリームを USB ケーブルで接続します。
USB ケーブルの接続より自動的に USB 機能がセットアップされます。
- 3** セットアップが完了すると、モニターが USB ハブとして機能し、さまざまな USB 対応の周辺機器をモニターの USB ポート（ダウンストリーム）に接続することができます。



第3章 画面調整と設定をする

3-1. 基本操作方法と機能一覧

画面調整 / 設定と CAL Switch のモード切替が簡単にできます。



注意

- 調整メニューと CAL Switch メニューを同時に表示させることはできません。

1 メニューの表示

[O] を押し、メインメニューを表示します。

2 調整 / 設定

- [◀ ▼ ▲ ▶] で、調整 / 設定したい項目を選択し、[O] を押して、選択した項目のサブメニューを表示します。
- [◀ ▼ ▲ ▶] で、調整 / 設定したい項目を選択し、[O] を押して、選択した項目の調整 / 設定メニューを表示します。
- [◀ ▼ ▲ ▶] で調整 / 設定し、[O] を押して確定します。

3 終了

- サブメニューより<リターン>を選択し ([▼] を 2 回押すと移動します。)、[O] を押して、メインメニューに戻ります。
- メインメニューより<メニューオフ>を選択し ([▼] に 2 回押すと移動します。)、[O] を押して、調整メニューを終了します。

参考

- [O] をすばやく続けて 2 回押すと調整メニューを終了させることができます。

機能一覧

調整メニューの調整、および設定項目一覧表です。「*」はアナログ信号入力のみ、「**」はデジタル信号入力のための機能です。

メインメニュー	サブメニュー		調整 / 設定内容
ピクチャー調整	クロック	*	「3-2. 画像を調整する」
	フェーズ	*	
	ポジション	*	
	解像度	*	
	レンジ調整	*	
	スムージング		
	信号フィルタ	*	
カラー (Custom) ^{*1}	ブライトネス		「3-3. カラー調整をする」
	色温度		
	ガンマ		
	色の濃さ		
	色合い		
	ゲイン		
	6色調整		
	リセット		
PowerManager	DVI DPM	**	「3-4. 節電設定をする」
	VESA DPMS	*	
	オフ		
その他	拡大モード		「3-9. 推奨解像度以外でご使用の場合」
	ボーダー		
	入力信号		入力信号の自動切り替えを設定する
	オフタイマー		タイマー機能（使用時間）を設定する
	メニュー設定	メニューサイズ	メニューサイズを拡大する
		メニューポジション	メニュー位置を移動する
		メニューオフタイマー	メニュー表示時間を設定する
		半透明	メニューの透明度を設定する
		設置方向	メニューの表示方向を設定する
	BrightRegulator		明るさの自動調整を設定する
	電源ランプ		画面表示時の電源ランプ(青)を無灯にする(電源ランプ設定)
	リセット		調整 / 設定状態をすべて初期設定に戻す
インフォメーション	インフォメーション		設定状況および機種名、製造番号、モニターの使用時間 ^{*2} を確認する
言語選択	英語・ドイツ語・フランス語・ スペイン語・イタリア語・ スウェーデン語・日本語		調整メニューの言語を選択する

^{*1} <カラー>メニューで調整 / 設定できる機能は CAL Switch のモードにより異なります。表は Custom モードの場合のサブメニューです。（「3-3. カラー調整をする」参照）

^{*2} 工場検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

3-2. 画面調整をする

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、30分以上経過してからおこなってください。
(内部の電気部品の動作が安定するのに約30分かかります。)

デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されます。

アナログ信号入力の場合

液晶モニターの画面の調整とは、使用するシステムに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。快適に使用していただくために、モニターを初めてセットアップしたときや使用しているシステムの設定を変更した場合には、調整メニューを使用して画面を調整していただくことをおすすめします。

調整手順

1 [A]を押します。

「もう一度オートボタンを押すとオートアジャストが実行されます」のメッセージが5秒間表示されます。メッセージが表示されている間にもう一度[A]を押すと、自動調整機能が働き（動作中であることを示すアイコンが表示されます）、クロック、フェーズ、ポジション、解像度が調整されます。

注意点

- この機能は Macintosh や Windows など画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。DOS プロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
- 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

[A]で調整しきれない場合は以降の手順にしたがって調整をおこなってください。正確に表示された場合は、5. レンジ調整にお進みください。

2 アナログ画面調整用のパターンを準備します。

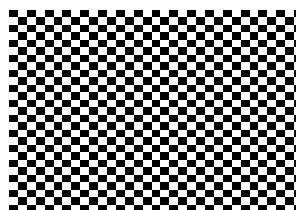
当社の Web サイト (<http://www.eizo.co.jp>) から「画面調整パターン集」をダウンロードしてください。

参考

- 画面調整パターン集の開きかたおよび内容については、ダウンロードした Readmeja.txt ファイルを参照してください。

3 アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動画面調整をします。

(1) 画面調整パターン集を使用して、パターン1を全画面に表示します。




(2) 調整メニューの<ピクチャー調整>メニューより<自動調整>を選択します。





(3) 「実行」を選択します。

動調整機能が働き（動作中であることを示すアイコンが表示されます）、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

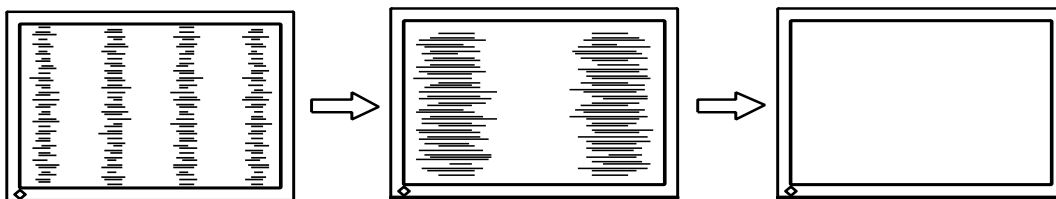
4 調整メニューの<ピクチャー調整>メニューにより調整します。

(1) 縦縞が出ている場合


→  <クロック>を調整します。



<クロック>を選択し、  を使用して縦縞が消えるように調整します。調整が合ったポイントを見逃しやすいので   をゆっくり押して調整するようにしてください。

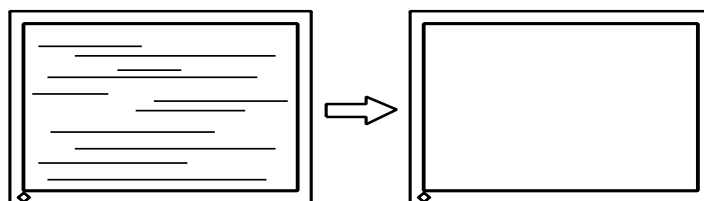
調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「(2) フェーズ調整」にすみ調整をおこなってください。



(2) ちらついたり、にじむように見える場合

→  <フェーズ>を調整します。


<フェーズ>を選択し、  を使用して最もちらつきやにじみのない画面に調整します。







注意点

- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくなるものがあります。

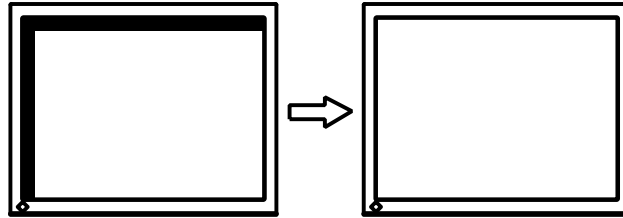
(3) 表示位置がずれている場合

→  <ポジション> を調整します。


液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動させるための調整です。





<ポジション> を選択し、画像の左上とマーカーが合うように     で調整します。調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「(1) クロック調整」に戻り、再度調整をおこなってください。

(クロック→フェーズ→ポジション)

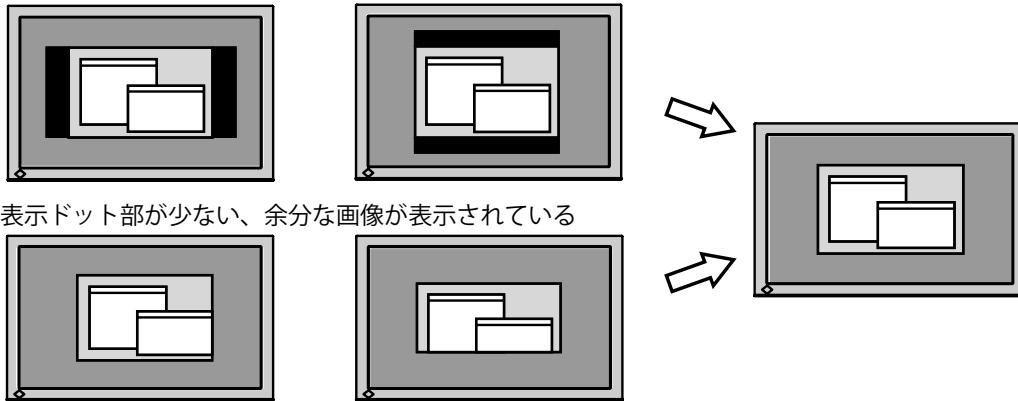


(4) 余分な画像が表示されていたり、画像が切れている場合

→  <解像度> を確認します。


<解像度> を選択し、調整メニューに表示されている解像度と、入力信号の解像度が同じになるように   で垂直方向の解像度を、  で水平方向の解像度を調整します。

表示ドット部が多いため、余分な画像が表示されている



表示ドット部が少ない、余分な画像が表示されている

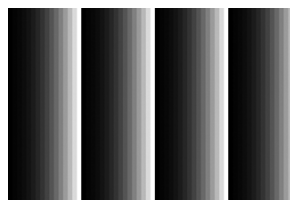
5 信号の出力レンジ（レンジ調整）を調整します。


→  <ピクチャー調整> メニューの<レンジ調整>で調整します。

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0～255）を表示できるように調整します。

【設定方法】

(1) 画面調整パターン集を使用して、パターン2を全画面に表示します。



(2) <ピクチャー調整>メニューで<レンジ調整>を選択し、 を押します。

(3) 「実行」を選択します。

色階調が自動的に調整されます。

(4) パターン2を閉じます。

3-3. カラー調整をする

簡易調整 [CAL Switch モード]

モニターの明るさなどを表示画像に適した表示モードに切り替えることができます。

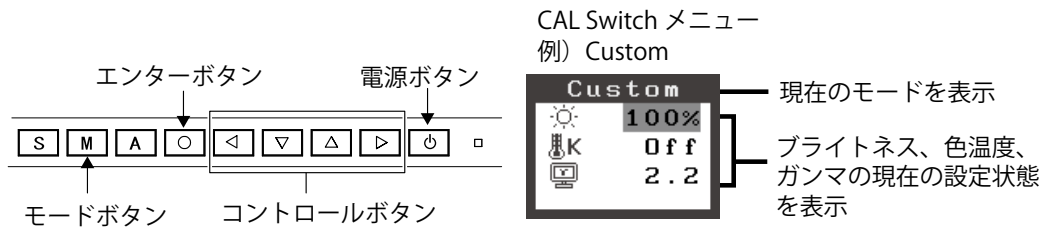
CAL Switch モードを選択する

[M]を押すと、CAL Switch メニューが画面左下に表示されます。[M]を押すたびに4つのモードが順に切り替わり表示されます。[O]を押すと終了します。

→ DICOM-CL → Text → Custom → CAL

参考

- 調整メニューと CAL Switch メニューを同時に表示させることはできません。



CAL Switch モードの種類

表示画像に最適な表示モード（4種類）を選択できます。

モード	目的
DICOM-CL	X線フィルム色 (Clear base) に合わせた設定をします。
Text	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。
Custom	お好みの設定にすることができます。
CAL	キャリブレーションをおこなう場合に選択します。

CAL Switch モードのカラー設定を変更する

CAL Switch メニューで<ブライトネス>、<色温度>、<ガンマ>の調整 / 設定ができます。[▽] [△]で調整 / 設定したい項目を選択し、[◀▶]で値を調整 / 設定します（色温度、ガンマの値はモードによっては固定されています）。

注意点

- 「CAL」モードでは、キャリブレーションソフトウェアによる調整のみおこなうことができます。

詳細調整 [調整メニュー]









調整メニューの<カラー>メニューで、CAL Switch モードごとに独立した、カラー調整の設定、保存ができます。

アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、まず<レンジ調整>をおこなってください。カラー調整中に CAL Switch モードを変更しないでください。あらかじめ、CAL Switch モードを[M]で設定しておいてください。

調整項目

CAL Switch モードにより、<カラー>メニューで調整 / 設定できる機能が異なります（表示メニューも異なります）。

○：調整 / 設定可 —：工場にて設定済み

アイコン	機能名	CAL Switch モード			
		DICOM-CL	Text	Custom	CAL
	ブライトネス *	—	○	○	—
	色温度 *	—	○	○	—
	ガンマ *	—	○	○	—
	色の濃さ	—	○	○	—
	色合い	—	○	○	—
	ゲイン	—	—	○	—
	6色調整	—	—	○	—
	リセット	—	○	○	—

* これらの調整項目は CAL Switch メニューでも調整 / 設定ができます。

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、30 分以上経過してからおこなってください。（内部の電気部品の動作が安定するのに約 30 分かかります。）
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

調整内容

メニュー	内容	調整範囲
ブライツネス 	画面全体の明るさを好みの状態に調整する	0 ~ 100%
	参考 ・「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。	
色温度 	色温度を選択する	6500K ~ 15000K まで 500K 単位で選択します。(9300K 含む)
	参考 ・「K」表示は参考値としてご利用ください。 ・色温度を調整すると、色温度に応じて<ゲイン>が自動調整されます。 ・6500K より低く、あるいは 15000K より高くすると、設定が「オフ」になります。 ・本設定は<ゲイン>の設定をすると無効になります。	
ガンマ 	ガンマ値を設定する	1.8 ~ 2.6
色の濃さ 	色を鮮やかにする	-100 ~ 100 最小値 (-100) で白黒の画面となります。
	注意点 ・本機能を使用することにより、すべての色階調を表示できないことがあります。	
色合い 	肌色などを好みの色合いにする	-100 ~ 100
	注意点 ・本機能を使用することにより、すべての色階調を表示できないことがあります。	
ゲイン 	赤、緑、青をそれぞれ調整し、好みの色調にする	0 ~ 100% 赤、緑、青のそれぞれの明度を調整することにより、任意の色調を作ります。背景が白またはグレーの画像を表示して調整してください。
	参考 ・「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。 ・本設定は<色温度>の設定をすると無効になります。ゲインの設定は色温度に応じて変化します。	
6色調整 	<色合い>、<色の濃さ>を Red, Yellow, Green, Cyan, Blue, Magenta それぞれ個別に調整する	色合い：-100 ~ 100 色の濃さ：-100 ~ 100
リセット 	カラー調整状態をすべて初期状態に戻す	<リセット>を実行します。

3-4. 節電設定をする

調整メニューの＜PowerManager＞メニューで節電機能を設定できます。

【注意点】

- 完全な節電のためにはモニターの電源を切ることをおすすめします。また、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- モニターが節電モードに入っても、USB 機器が接続されている場合、USB 機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、節電モードであっても接続される機器によって変化します。

アナログ信号入力の場合

本機は「VESA DPMS」に準拠しています。

【設定方法】

1. コンピュータの節電機能を設定します。
2. ＜PowerManager＞メニューより、「VESA DPMS」を選択します。

【節電の流れ】

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
節電モード	スタンバイ サスペンド オフ	節電モード	橙

【復帰方法】

キーボードまたはマウスを操作します。

デジタル信号入力の場合

本機は「DVI DMPM」に準拠しています。

【設定方法】

1. コンピュータの節電機能を設定します。
2. ＜PowerManager＞メニューより、「DVI DMPM」を選択します。

【節電の流れ】

コンピュータの設定に連動し5秒後に節電モードに入ります。

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
節電モード		節電モード	橙

【復帰方法】

コンピュータ / 節電モードからの復帰：キーボードまたはマウスを操作します。

3-5. オフタイマー機能を使用する

モニターの使用時間を設定することにより、設定した時間が経過すると自動的にモニターの電源がオフされます。モニターに長時間同じ画像を表示させていると生じる残像現象を軽減するための機能です。一日中同じ画像を表示させておくような場合にご利用ください。

【設定方法】

1. 調整メニューの<その他>メニューより<オフタイマー>を選択します。
2. 「有効」を選択した後、モニターの使用時間（1～23時間）を設定します。

【オフタイマーの流れ】

タイマー	モニターの状態	電源ランプ
設定時間（1H～23H）	オン	青点灯
設定時間終了 15 分前	予告期間 ^{*1}	青点減
設定時間終了後	電源オフ	オフ

^{*1}予告期間中に \square を押すと、押した時点から90分延長することができます。延長は回数に制限がなく何度でもできます。

【復帰方法】

\square を押します。

【注意点】

- ・節電モード時でもオフタイマーは機能しますが、予告機能は働きません。予告なしに電源がオフされます。

3-6. 設定をロックする

一度調整 / 設定した状態をむやみに変更したくないときにご利用ください。

ロックできるボタン	・ \square （エンターボタン） 調整メニューによる調整 / 設定 ・ \square （モードボタン） ・ \square （オートボタン）
ロックできないボタン	・ \square （入力切替ボタン） ・ \square （電源ボタン）

【設定方法】

1. \square を押して、いったん電源を切ります。
2. \square を押しながら、 \square を押します。
調整ロックがかかり画面が表示されます。

【解除方法】

1. \square を押して、電源を切ります。
2. \square を押しながら、再度 \square を押します。
調整ロック解除され画面が表示されます。

【注意】

- ・専用ソフトウェアを使用してキャリブレーションした場合にも調整ロック機能が動作します。解除方法は上記の手順と同様です。

3-7. 電源ランプを設定する

画面表示時の電源ランプ（青）を無灯にすることができます（初期設定では、電源ランプは電源を入れたときに点灯します）。

【設定方法】

1. 調整メニューの<その他>メニューより<電源ランプ>を選択します。
2. 「無効」に設定します。

3-8. 明るさの自動調整を設定する

モニター正面のセンサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。

【設定方法】

1. 調整メニューの<その他>メニューより< BrightRegulator >を選択します。
2. 「有効」に設定します。


【注意点】



- 「DICOM-CL」モード、「CAL」モードでは、使用できません。

3-9. 推奨解像度以外でのご使用の場合

推奨解像度以外の解像度は 1600 × 1200 に（画面いっぱい）自動的に拡大されますが、
 <その他>メニューの<拡大モード>機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

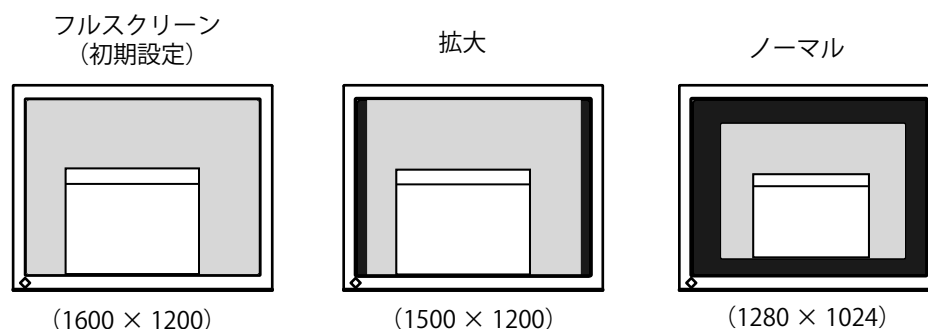
1 画像の表示サイズを変更する場合

→  <拡大モード>で切り替えます。


<その他>メニューより<拡大モード>を選択し、  でモードを選択します。

モード	機能
フルスクリーン	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・横一定にするため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例：1280x1024 を表示した場合



2 文字や線がぼやけてみえる場合

→  <スムージング>の設定を切り替えます。


「フルスクリーン」、「拡大」モードで表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。

<ピクチャー調整>メニューより<スムージング>を選択し、1～5段階（ソフト～シャープ）から好みに応じて選択します。



注意点

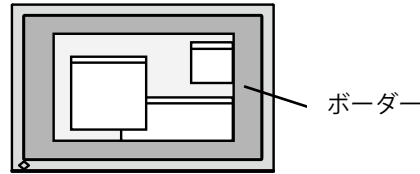
- ・ <スムージング>アイコンは、以下の場合には選択できません。
 - 解像度が 1600 × 1200 の場合
 - 解像度が 800 × 600 の場合
 - <拡大モード>で「ノーマル」を選択している場合
 - <拡大モード>で解像度を 2 倍に表示した場合
 （例：800 × 600 を 1600 × 1200 に拡大設定）

3 画像が表示されていない部分（ボーダー）の明るさを設定する場合

→  <ボーダー> で設定します。

「ノーマル」、「拡大」モード時には、画像の周囲にボーダー（画像が表示されていない暗い部分）が表示されます。



<その他>メニューより<ボーダー>を選択し、  で調整します。



3-10. 調整メニューの表示方向を設定する

調整メニューの表示方向を変更することができます。

【設定方法】

1. 調整メニューの<その他>メニューより<メニュー設定>を選択します。
2. <メニュー設定>メニューより<設置方向>を選択します。
3.   で「横置き / 縦置き」を設定します。
4. モニターの画面を時計回りに 90° 回転します。

注意

- ケーブル類が正しく差し込まれているかご確認ください。




参考

- モニターを縦型表示するためには、縦型表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦型表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。




3-11. EIZO ロゴを非表示にする

本機の電源を入れた時に、EIZO ロゴが画面中央に表示されます。このロゴの表示 / 非表示の切り替えができます（初期設定ではロゴが表示されます）。

【設定方法】

1.  を押して、いったん電源を切ります。
2.  を押しながら  を入れると、ロゴが表示されなくなります。

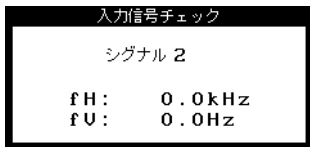
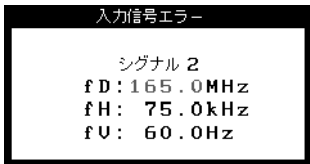
【解除方法】

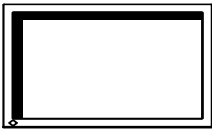
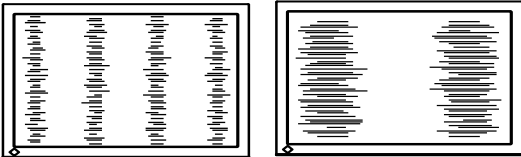
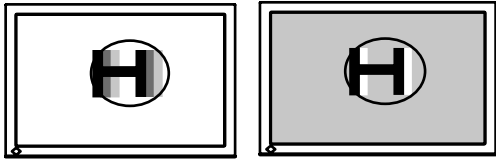
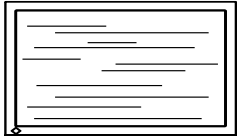

1.  を押して、電源を切ります。
2.  を押しながら  を入れると、再びロゴが表示されます。

第4章 故障かなと思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはEIZOサポートにご相談ください。

- 画面が表示されない場合 → 項目 1、2 を参照してください。
- 画面に関する症状 → 項目 3 ～ 14 を参照してください。
- その他の症状 → 項目 15 ～ 18 を参照してください。
- USB に関する症状 → 項目 19、20 を参照してください。

	症状	チェックポイント / 対処方法
画面が表示されない場合	1. 画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • 電源コードは正しく差し込まれていますか。電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 • [O]を押してみてください。
	• 電源ランプが点灯しない	
	• 電源ランプが点灯：青色	<ul style="list-style-type: none"> • <ゲイン>のRGBの各調整値を高くしてみてください。 (P.22)
	• 電源ランプが点灯：橙色	<ul style="list-style-type: none"> • [S]で入力信号を切り替えてみてください。 • マウス、キーボードを操作してみてください。 • コンピュータの電源が入っていますか？
	2. 以下のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
	<ul style="list-style-type: none"> • 信号が入力されていない場合の表示です。(この表示は約 40 秒間表示されます。) 	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータによっては電源投入時に信号がすぐに出られないため、左のような画面が表示されることがあります。 • コンピュータの電源は入っていますか。 • 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 • [S]で入力信号を切り替えてみてください。
	<ul style="list-style-type: none"> • 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。(範囲外の信号は赤色で表示されます。) 例： 	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータを再起動してみてください。 • グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

	症状	チェックポイント / 対処方法
画面に関する症状	3. 画像がずれている 	<ul style="list-style-type: none"> ・＜ポジション＞調整で画像の左上を画面上のマーカーに合わせてください。(P.19) ・「水平ポジション」、「垂直ポジション」調整で画像の位置を合わせてください。(P.19) ・ご使用のグラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
	4. 画像の一部が表示されない / 余分な画像が表示される	・＜解像度＞で入力信号の解像度と解像度調整メニューの解像度が合うように調整してください。(P.19)
	5. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている 	・＜クロック＞で調整してみてください。(P.18)
	6. 画像が重なって見える / 画像の右側に明るい線が見える 	・＜信号フィルタ＞を調整してみてください。
	7. 画面全体がちらつく、にじむように見える 	・＜フェーズ＞で調整してみてください。(P.18)
	8. 文字がぼやけて見える	・＜スムージング＞で調整してみてください。(P.26)
	9. 画面の上部が下図のように歪む 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンポジットシンク (X-OR) の信号とセパレートシンクの垂直同期信号が同時に入力されている場合に起こります。入力する信号をコンポジットかセパレートのどちらか一方にしてください。
	10. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	・＜ブライツネス＞を調整してください。(LCD モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZO サポートにご相談ください。)
	11. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間同じ画像を表示する場合に、スクリーンセーバーを設定したり、オフタイマー機能を活用してください。 ・この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをおすすめします。
	12. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	・これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
	13. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押したあとが消えない	・画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
	14. 画面にノイズがあらわれる	・＜ピクチャー調整＞の＜信号フィルタ＞でモードを切り替えてみてください。

	症状	チェックポイント / 対処方法
その他の症状	15. 調整メニューにおいて、＜ピクチャー調整＞の＜スケーミング＞アイコンが選択できない	<ul style="list-style-type: none"> 以下の解像度においては選択できません。 <ul style="list-style-type: none"> 1600 × 1200 800 × 600 ＜拡大モード＞で「ノーマル」を選択している場合は選択できません。 ＜拡大モード＞で解像度を2倍に表示した場合（例：800 × 600 を 1600 × 1200 に拡大設定）
	16. 調整メニューのメインメニューが起動できない	調整ロックが機能していないか確認してみてください。 (P.24)
	17. CAL Switch メニューが起動できない	調整ロックが機能していないか確認してみてください。 (P.24)
	18. [A] が正しく動作しない	<ul style="list-style-type: none"> [A] はデジタル信号入力時には動作しません。 調整ロックが機能していないか確認してみてください。 (P.24)
USBに関する症状	19. コンピュータが動作しない / 接続した周辺機器が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> USB ケーブルは正しく差し込まれていますか。 別の USB ポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、EIZO サポートにご相談ください。（詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。） 次の動作を試してみてください。 <ul style="list-style-type: none"> コンピュータを再起動してみる 直接コンピュータと周辺機器を接続してみる <p>モニター（USB ハブ）に接続しない状態で各機器が正常に動作する場合は、お買い求めの販売店または EIZO サポートにご相談ください。</p>
	20. USB 機能のセットアップができない	<ul style="list-style-type: none"> USB ケーブルは正しく差し込まれていますか。 ご使用のコンピュータおよび OS が USB に対応しているかご確認ください。（各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。） Windows 2000/XP/Vista/7/8 をご使用の場合、コンピュータに搭載されている BIOS の USB に関する設定をご確認ください。（詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。）

第5章 ご参考に

5-1. アーム取付方法

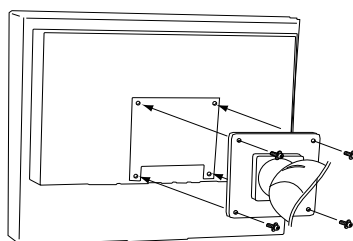
本機はスタンド部分を取り外すことによって、アームまたは他のスタンドに取り付けることが可能になります。

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認のうえ、VESA 規格準拠のものをお選びください。
 - 取付部のネジ穴間：100mm × 100mm
 - プレート部の厚み：2.6mm
 - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- アームまたはスタンドを使用する場合は、以下の範囲（チルト角）で使用してください。
 - 上 45° 下 45°（横表示時、および時計回り 90° に縦表示時）
- ケーブル類は、アームを取り付けた後に接続してください。
- モニターおよびアームは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。

取付方法

- 1 液晶パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。**
- 2 スタンド部分を取り外します。（別途ドライバーを準備ください。）**
ドライバーを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ4箇所を取り外します。
- 3 モニターにアームまたはスタンドを取り付けます。**
アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のネジを使って取り付けます。



5-2. 仕様

液晶パネル		54cm (21.3) 型カラー TFT 表面処理：アンチグレア 表面硬度：3H 応答時間：約 16ms
視野角		上下 178°、左右 178° CR ≥ 10
ドットピッチ		0.270mm
水平走査周波数	アナログ	24 ～ 80kHz (自動追従)
	デジタル	31 ～ 76kHz
垂直走査周波数	アナログ	49 ～ 76Hz (自動追従) (1600x1200 モード時: 49 ～ 61Hz)
	デジタル	59 ～ 61Hz (VGA TEXT 時: 69 ～ 71Hz)
解像度		1600 ドット × 1200 ライン
ドットクロック (最大)	アナログ	162MHz
	デジタル	162MHz
最大表示色		1677 万色
表示サイズ (水平 × 垂直)		432mm × 324.0mm
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz、0.7A(USB 機器接続時)
消費電力	画面表示時	70W (USB 機器接続時)
		60W (USB 機器未接続時)
	節電モード	1.5W 以下 (1 系統入力時、USB 機器未接続時)
	電源スイッチオフ時	1W 以下
信号入力コネクタ		DVI-I コネクタ、D-Sub15 ピン (ミニ)
アナログ信号 入力同期信号		セパレート、TTL、正 / 負極性
		コンボジット、TTL、正 / 負極性
アナログ信号 入力映像信号		アナログ、正極性 (0.7Vp-p/75 Ω)
デジタル信号伝送方式		TMDS (Single Link)
ビデオ信号メモリー	アナログ	45 種 (プリセット 22 種)
	デジタル	10 種 (プリセット 0 種)
プラグ&プレイ機能		VESA DDC 2B / EDID structure 1.3
寸法	本体	465mm (幅) × 453 ～ 535mm (高さ) × 208.5mm (奥行き)
	スタンドなし	465mm (幅) × 361mm (高さ) × 64mm (奥行き)
質量	本体	9.7kg
	スタンドなし	6.7kg
環境条件	温度	動作温度範囲 : 0℃～35℃ 輸送および保存温度範囲 : -20℃～60℃
	湿度	相対湿度範囲 : 30%～80% R.H. (非結露状態) 運送および保存湿度範囲 : 30%～80% R.H. (非結露状態)
	気圧	動作気圧範囲 : 700 ～ 1060 hPa. 運送および保存気圧範囲 : 200 ～ 1060 hPa.
USB	規格	USB Specification Revision 2.0 準拠
	ポート	アップストリーム × 1、ダウンストリーム × 2
	通信速度	480Mbps (ハイスピード)、12Mbps (フルスピード)、 1.5Mbps (ロースピード)
	供給電流	ダウンストリーム：最大 500mA/1 ポート

主な初期設定（工場出荷設定）値

CAL Switch モード：工場出荷時の表示設定は DICOM-CL モードです。

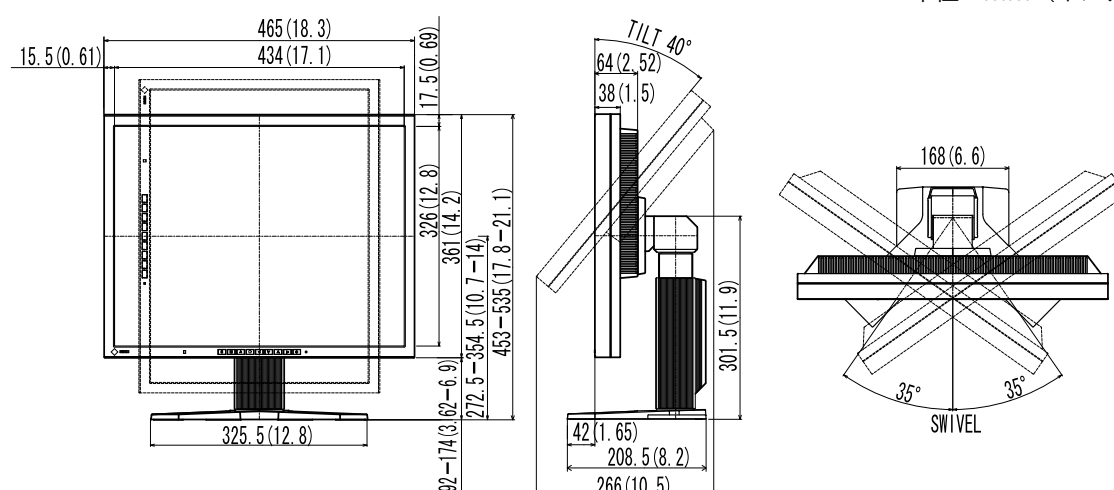
	輝度（ブライトネス）	色温度	ガンマ値
Custom	約 300 cd/m ²	オフ	2.2
Text	約 100 cd/m ²	7500K	2.2
DICOM-CL	170 cd/m ²	7500K	DICOM
CAL	170 cd/m ²	7500K	DICOM

その他

スモーキング		3
PowerManager		アナログ信号入力時：VESA DPMS デジタル信号入力時：DVI DMPM
拡大モード		フルスクリーン
オフタイマー		無効
メニュー設定	サイズ	ノーマル
	オフタイマー	45 秒
BrightRegulator		無効
言語選択		日本語

外観寸法

単位：mm（インチ）



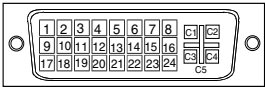
別売オプション品一覧

保護パネル	EIZO「FP-2101」
アーム、スタンド	EIZO「LS-HM1-D」：ハイトアジャスタブルスタンド EIZO「LA-131-D」：フレキシブルアーム EIZO「LA-030-W」：壁掛けアーム EIZO「LA-011-W」：壁掛けアーム
キャリブレーションキット	EIZO「RadiCS UX1」Ver.3.2.2 以降 EIZO「Clip-On Swing Sensor」
ネットワーク QC 管理ソフト	EIZO「RadiNET Pro」Ver.3.2.2 以降 EIZO「RadiNET Pro Lite」Ver.3.2.2 以降
クリーニングキット	EIZO「ScreenCleaner」
信号ケーブル	V55

最新の対応グラフィックスボード情報は当社の Web サイト (<http://www.eizo.co.jp>) を参照してください。

入力信号接続

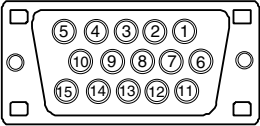
● DVI-I コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	TMDS Data 2-	11	TMDS Data1/3 Shield	21	NC*
2	TMDS Data 2+	12	NC*	22	TMDS Clock shield
3	TMDS Data2/4 Shield	13	NC*	23	TMDS Clock+
4	NC*	14	+5V Power	24	TMDS Clock-
5	NC*	15	Ground (return for +5V, Hsync and Vsync)	C1	Analog Red
6	DDC Clock (SCL)	16	Hot Plug Detect	C2	Analog Green
7	DDC Data (SDA)	17	TMDS Data0-	C3	Analog Blue
8	Analog Vertical Sync	18	TMDS Data0+	C4	Analog Horizontal Sync
9	TMDSData1-	19	TMDS Data0/5 Shield	C5	Analog Ground(analog R,G,&B return)
10	TMDS Data1+	20	NC*		

(*NC: No Connection)

● D-Sub(ミニ) コネクタ

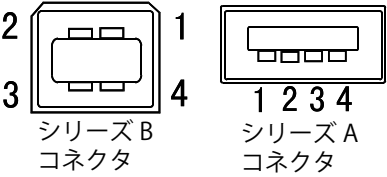


ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	Red video	6	Red video ground	11	NC*
2	Green video	7	Green video ground	12	Data (SDA)
3	Blue video	8	Blue video ground	13	H. Sync
4	NC*	9	NC*	16	V. Sync
5	Ground	10	Ground	15	Clock (SCL)

(*NC: No Connection)

● USB ポート

アップストリーム ダウンストリーム



接点番号	信号名	備考
1	VCC	Cable power
2	- Data	Serial data
3	+ Data	Serial data
4	Ground	Cable Ground

5-3. 用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K: ケルビン (Kelvin) で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K: やや赤みがかった白色

6500K: 暖色で紙色に近い白色

9300K: やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機の場合は横 1600 個、縦 1200 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1600 × 1200 の解像度であれば、画像は画面いっぱい（1 対 1）に表示されます。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスシステムのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の 3 原色であり、画面上に表示されるすべての色は 3 色の組み合わせによって構成されます。3 色のフィルターに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをおすすめします。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをおすすめします。

DICOM (Digital Imaging and Communication in Medicine)

米国放射線学会 (American College of Radiology) と北米電子機器工業会 (National Electric Manufacturers Association) が開発した医用画像と通信の標準規格です。

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル/アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DMPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの節電機能のことです。モニターのパワー状態については Monitor ON（オペレーションモード）と Active Off（節電モード）が必須となっています。）

TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPMS

(Video Electronics Standards Association - Display Power Management Signaling)

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPMS はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

第6章 プリセットタイミング

●工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです（アナログ信号のみ）。

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置等がずれ、調整メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 次頁に記載されている以外の信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

表示モード	ドット クロック		周波数	極性
			水平：kHz 垂直：Hz	
VGA 640 × 480@60Hz	25.2 MHz	水平	31.47	負
		垂直	59.94	負
VGA TEXT 720 × 400@70Hz	28.3 MHz	水平	31.47	負
		垂直	70.09	正
Macintosh 640 × 480@67Hz	30.2 MHz	水平	35.00	負
		垂直	66.67	負
Macintosh 832 × 624@75Hz	57.3 MHz	水平	49.72	負
		垂直	74.55	負
Macintosh 1152 × 870@75Hz	100.0 MHz	水平	68.68	負
		垂直	75.06	負
Macintosh 1280 × 960@75Hz	126.2 MHz	水平	74.76	正
		垂直	74.76	正
PC-9801 640 × 400@56Hz	21.0MHz	水平	24.83	負
		垂直	56.42	負
PC-9821 640 × 400@70Hz	25.2MHz	水平	31.48	負
		垂直	70.10	負
VESA 640 × 480@72Hz	31.5 MHz	水平	37.86	負
		垂直	72.81	負
VESA 640 × 480@75Hz	31.5 MHz	水平	37.50	負
		垂直	75.00	負
VESA 800 × 600@56Hz	36.0 MHz	水平	35.16	正
		垂直	56.25	正
VESA 800 × 600@60Hz	40.0 MHz	水平	37.88	正
		垂直	60.32	正
VESA 800 × 600@72Hz	50.0 MHz	水平	48.08	正
		垂直	72.19	正
VESA 800 × 600@75Hz	49.5 MHz	水平	46.88	正
		垂直	75.00	正
VESA 1024 × 768@60Hz	65.0 MHz	水平	48.36	負
		垂直	60.00	負
VESA 1024 × 768@70Hz	75.0 MHz	水平	56.48	負
		垂直	70.07	負
VESA 1024 × 768@75Hz	78.8 MHz	水平	60.02	正
		垂直	75.03	正
VESA 1152 × 864@75Hz	108.0 MHz	水平	67.50	正
		垂直	75.00	正
VESA 1280 × 960@60Hz	108.0 MHz	水平	60.00	正
		垂直	60.00	正
VESA 1280 × 1024@60Hz	108.0 MHz	水平	63.98	正
		垂直	60.02	正
VESA 1280 × 1024@75Hz	135.0 MHz	水平	79.98	正
		垂直	75.03	正
VESA 1600 × 1200@60Hz	162.0 MHz	水平	75.00	正
		垂直	60.00	正

製品回収・リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。

当社製品は、業界団体「パソコン 3R 推進協会」が回収させていただきます。

回収を希望されるお客様は当社の Web サイトよりお申し込みください。

(<http://www.eizo.co.jp>)

※ 本製品は業務用途を意図した製品ですので、ご使用後廃棄される場合は有償となります。

关于电子信息产品污染控制标识



本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」,适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项,在自制造日起算的年限内,不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

• 有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
印刷电路板	×	○	○	○	○	○
机箱	○	○	○	○	○	○
液晶显示器	×	×	○	○	○	○
其他	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。
 ×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。
 （企业可在此处，根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明）

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。

×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。

(企业可在此处, 根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明)



EIZO株式会社

〒924-8566 石川県白山市下柏野町 153 番地

<http://www.eizo.co.jp>

第 4 版 2013 年 4 月

03V22623D2
(U.M-RMX210)